

## 令和6年度学校評価アンケート【後期】からの考察

岩国市立川下小学校

### 1 児童対象アンケートの結果から

#### ◎成果

「登下校や日々の生活の中で、交通安全に気をつけている。」【設問9】は、肯定的な評価が9割を大きく超えていた。また、「友達に思いやりの心をもって接している。(友達を大切にしている)」【設問6】、「地域の人や先生、保護者などによくあいさつをしている。」【設問7】、「『だまって』『いっしょうけんめい』『すみずみまで』『きれいに』のそうじがきちんとできている。」【設問8】、「安心して学校生活を送ることができる。」【設問10】は肯定的な評価がほぼ9割という結果であった。

- ・【設問9】については、スクールガードの方々をはじめ地域や保護者の皆様の見守りのもと、児童が安全な登下校を実感することができているためと考える。
- ・【設問6】については、本校の重点目標のひとつである「一人ひとりの思いや願いを認め合い、高めあう集団づくりを推進し、豊かな人間関係を育む心の教育と特別支援教育の充実を図る」ことの達成に向けての取組が一定の成果をあげているのではないかと考える。
- ・【設問10】については、学習や生活の指導における教職員の働きかけが効果をあげ、子どもたちが安心して過ごすことができる環境を提供することができているためと考える。

#### ■課題と今後の取組

「地域の行事や活動に参加(見学を含む)している。」【設問12】はすべての設問の中で、前期に続いて最も肯定的な評価の割合が低かった。「授業では、進んで発表したり、話し合い活動に参加したりしている。」【設問1】「宿題や自主学習など、家庭学習に毎日(1, 2年: 20分、3, 4年: 40分、5, 6年: 60分)とりくんでいる。」【設問3】は肯定的な評価が8割に届かなかった。

- ・【設問12】については、プリントやメールなどで情報提供を行い、参加につながるように働きかけを行っているが、なかなか結果につながらないようである。また、学校の教育活動において、地域や地域の方々について知る学習を進め、地域に対する理解を深めるような働きかけを継続していきたい。
- ・【設問1】については、「そう思う」を選択する児童が26%と比較的少ないことから、発表や話し合いに苦手意識を持っている児童もいるようである。授業の中で表現の場を日常的に設定して、児童の表現活動に対する抵抗感を和らげていきたい。また、児童が積極的に表現活動を行うことができるように、授業展開を工夫していきたい。
- ・【設問3】については、宿題や自主学習に毎日取り組んでいる児童もいる反面、家庭

学習に取り組むことができている児童が一定数見られるようである。保護者の方とも協力しながら、家庭学習の意味や学習習慣を身につけていくことの大切さを丁寧に指導していきたい。さらにタブレット端末を活用するなど、より個に応じた家庭学習の機会を提供できるように工夫していきたい。

## 2 保護者対象アンケートの結果から

### ◎成果

「学校は、学級通信や学年だより、学校だより、メール配信など、積極的な情報発信に努めている。」【設問11】で、肯定的な評価が9割を超えていた。

- ・【設問11】については、学校生活の様子などについて、学校や学年、学級の各種たよりを通じて、プリントやメール、ホームページで積極的に発信していることを、肯定的に受け止めていただいた結果であると考え。引き続き、取組を継続していきたい。

### ■課題と今後の取組

「お子様は、地域の行事や活動に参加(見学を含む)し、地域の人と交流を深めている。」

【設問12】は肯定的な意見が63.5%と、前期に引き続き全設問の中で最も低い割合となった。また、「学校は、道徳の授業や話し合い活動などで児童の豊かな心を育てたり、アンケートと相談活動を行ったりして、いじめの根絶に取り組んでいる。」【設問5】は、肯定的な評価が72.2%とこれも前期と同様比較的少なかった。

- ・【設問12】については、今後も積極的な情報提供を行ったり、学校の教育活動においても地域や地域の方々についての学習を推進したりすることで、子どもたちの地域への関心を高め、地域の行事や活動への参加を促していきたい。
- ・【設問5】については、毎週いじめに関するアンケートを実施していること、担任はもちろんその他の教員に相談するシステムがあること、参観日には「人権教育」に特化した授業を行うようにしていることなど、学校の取組を周知していただくように努めていきたい。また、いじめの根絶をめざして、早期発見・早期解決に取り組んでいく姿勢を継続していきたい。

## 3 地域の方対象アンケートの結果から

### ◎成果

「学校への協力や訪問には抵抗がない。」【設問4】は、肯定的な評価が100%であった。「児童は、登下校中に交通安全に気をつけている。」【設問2】、「学校は学校公開日や学校だより、ホームページ、正門前の掲示板などを利用して、学校や児童の様子を積極的

に情報発信している。」【設問5】は、肯定的な評価が9割を超えていた。

- ・【設問4】については、本校の教育活動に興味・関心を持っていただき、親近感を持っていただいている結果ではないかと考える。引き続き、ご理解とご協力をお願いしたい。
- ・【設問2】については、国道188号線を含め車両の往来が盛んな地域でありながら、地域ぐるみで児童の登下校を見守っていただいている結果ではないかと考える。
- ・【設問5】については、地域の方々が本校の教育活動に関心を寄せ、学校から情報発信を積極的、また肯定的に受け止めていただいた結果と考える。子ども達のいきいきとした取組を伝える各種の便りや学校ホームページなどをさらに充実させ、継続して情報発信していきたい。

#### ■課題と今後の取組

「児童は、地域の行事や活動によく参加（見学を含む）している。」【設問6】が、全設問の中で肯定的な評価が75%で最も低い割合であった。また、「児童は、よくあいさつをしたり、あいさつを返したりしている。」【設問1】は、肯定的な評価は9割を超えているが、「そう思う」の評価は20.8%にとどまっていた。

- ・【設問6】については、さらに積極的な情報提供を行ったり、学校の教育活動においても地域や地域の方々について学ぶ学習を推進したりすることで、子どもたちと地域のつながりを深め、地域の行事や活動への参加を促進していきたい。
- ・【設問1】については、肯定的な意見が多く見られるものの、地域の方と保護者、児童とで評価結果が異なっており、認識の違いが見られる。今後も子どもたちが気持ちの良い挨拶をすることができるよう、指導を継続していきたい。保護者や地域の皆さんにもご協力をいただきたい。